

党市議会議員 中村あさと



8月27日月曜日から、大分県へ地震対策特別委員会の視察へ行って参りました。昨年の北九州豪雨災害により多くの方が亡くなられた地域です。今回、視察した日田市では、被災して一年以上が過ぎていくにもかかわらず、未だに住宅の再建が出来ず生活が安定しない方もいらっしゃる様です。こうした、避難生活が長期に渡ってしまふ事は、日田市に限った事ではありませんが、被災者の住宅再建のための支援をしつかり拡充する必要があると感じました。また、社会保険料などの減免措置や、生業の再建に向けた支援などの様々な支援が行われていて、早急な生活再建出来るよう制度を充実する必要を感じました。

大分地震視察



視察する委員ら、左端が中村です

いろんなことを学び 生かしていきたい

2日目の大分大学減災・復興デザイン教育研究センターでの講義では、防災教育などについての報告がありました。

防災キャンプという取り組みを行い幼少期より防災に対する意識の向上を促しているそうです。避難行動の遅れが指摘されている中で、子ども達が率先して避難を促すような意識が定着すれば、被害を抑える事にも繋がるとは思いません。和歌山市の防災・減災の取り組みに是非いかせていきたいと思えます。

県会議員 奥村のり子の
赤旗 読者ニュース
2018年9月2日 第325号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & F A X 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

政府における障がい者雇用の偽装問題が発覚しました。安倍政権の責任をあいまいにさせてはなりません。強い憤りを感じています。私の姉は知的障害がありました。母はいつも「姉をおいて死ねない」と口癖のように言っていました。障害があっても安心して住める社会について自然と考えるようになりまして、すべての人間にとって、安心して働く環境が求められる中で、障がい者雇用の推進も不可欠です。

**全く信用できない安倍政権！
障がい者雇用の偽装問題！**

ところが、今回の問題は民間企業に障がい者雇用推進を促し指導する中央省庁が、実際と異なる数字を使い、あたかも「目標」を達成しているかのように偽っていたことです。国民への裏切り行為は絶対許せません。この根本問題にメスを入れ責任を明らかにさせることです。国会では5野党1会派が閉会中の審査を要求しました。県からも国に対して「内容を明らかにせよ」と求めるべきです。
(奥村のり子)



生協病院の平和夏まつり、女性後援会でカレシを出店しました。

9月翁長知事の志をうけつぐ県政を



赤旗写真ニュース8月号
◆写真ニュースは月2回発行で料金は50円。大きさは奥村ポスターと同じ。詳細は(432)6222へどうぞ

- のり子の週刊日誌(主なもの)**
- 8月31日 市駅前・宇治交差点宣伝 推進会議 地域訪問
 - 9月 1日 河西無料生活相談 医労連大会挨拶 支部訪問 自治研総会 市駅夏祭り
 - 2日 地域訪問 看護学校同窓会
 - 3日 メガ住民の会県要望 福井国体結団式
 - 4~6日 防災特別委員会視察
 - 6日 市駅無料生活相談

辺野古新基地を作らせない立場を貫いた沖縄の翁長雄志知事が8月8日に急逝。それも新基地建設を断念させるために1日に予定の沖縄県民大会の3日前の逝去でした。翁長知事の次男雄治氏によれば「最後の最後まで、どうやったら辺野古新基地を止められるのか。病室のベッドの上でも資料を読みあさりがんばっていた」と言う。ほんとうに知事は無念だったでしょう。11日の県民大会はとぎおり強い雨の中7万人が参加しました。(右の赤旗写真ニュースの下半分)

会場で翁長知事の声を涙ながらに聴き、そしてその死を悼み全員で黙とう。参加者は「これから200年も先まで基地を置くわけにはいかない」、「日本政府は沖縄をばかにしています」、「米兵による事件・事故は日常茶飯事です」と翁長氏の志を継ぐ決意をさらに高め、知事選には自由党幹事長の玉城デニー衆院議員が立候補へ。沖縄の未来を左右し、日本の政治の在り方が問われる知事選です。日本共産党も全力で応援します。(編集室)